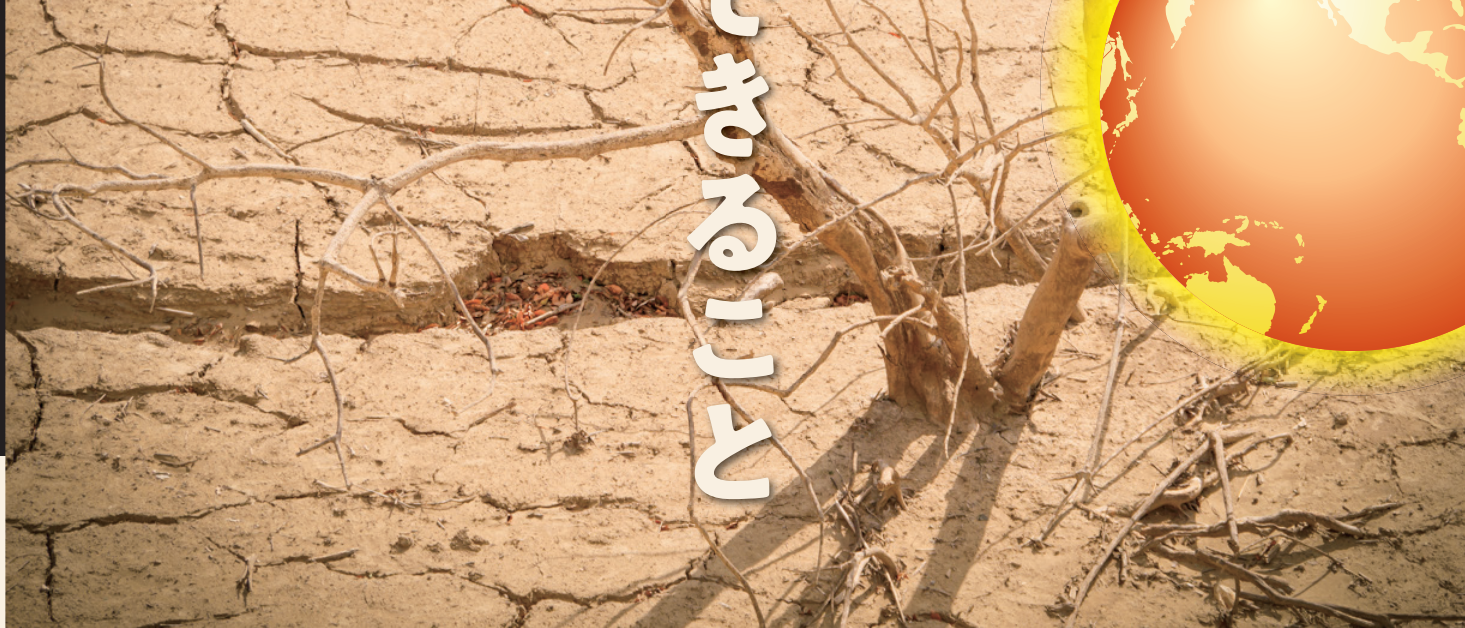




未来のために『今』できること

あなたの行動が
地球温暖化を止める



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

13 気候変動に
具体的な対策を

1 貧困を
なくそう

2 豊穣を
増やせ

3 すべての人に
健康と福祉を

4 質の高い教育を
みんなに

5 ジェンダー平等を
実現しよう

6 安全な水とトイレ
を世界中に

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

10 人や国の不平等を
なくそう

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

14 海の豊かさ
を増やそう

15 陸の豊かさも
守ろう

16 平和と公正を
すべての人に

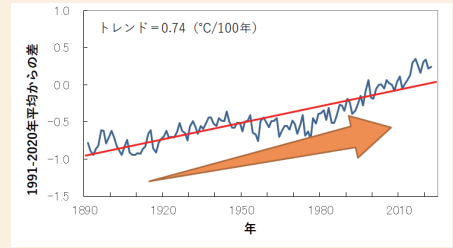
17 パートナリシップ
で目標を達成しよう



1 いま、地球があぶない!

2011年～2020年の世界の年平均気温は、工業化前(1850年～1900年)と比べて、約**1.1℃**上昇しています。

特に1990年代半ば以降、高温となる年が多くなっており、**2022年の世界の平均気温**は統計開始以降、**6番目に高い値**となりました。また、**2023年夏(6～8月)の世界の平均気温**は統計開始以降、**最も高い値**となりました。(2023年現在)



世界の年平均気温の推移
出典:気象庁「世界の年平均気温偏差(°C)」をもとに埼玉県作成

近年、「令和元年東日本台風」や「令和2年7月豪雨」などの異常気象が各地で発生しています。このような異常気象について、**地球温暖化が原因の一つ**であると考えられています。

地球温暖化によりすでに発生している影響



大雨の増加



熱中症搬送者数の増加



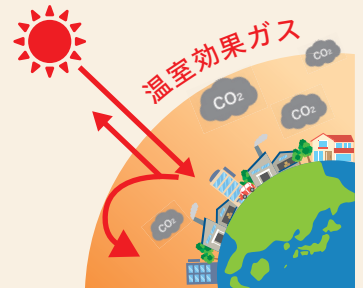
農作物の品質低下

他にも、洪水や土砂崩れの増加、自然生態系への悪影響など、様々な問題が発生しています。

2 地球温暖化はなぜ起きる?

地球は太陽からの熱が地表に届くことによって温められ、温められた地表から宇宙に熱が放出されています。その放出される熱の一部を吸収し、熱が逃げすぎないようにしているのが、**二酸化炭素(CO₂)等の温室効果ガス**です。

しかし**温室効果ガスが増えすぎると**、宇宙に逃げるはずの熱が放出されず、**気温が上昇してしまいます**。これが「**地球温暖化**」です。



CO₂は工場や車の排気ガスに含まれるほか、みんなが使っている**電気を作るときにも発生しているよ**。

3 このまま何も対策せず地球温暖化が進むと…!

2100年に全国では○○○○○

埼玉県では○○○○○

家屋が倒壊するような**スーパー台風**が毎年のように発生



夏の最高気温は、札幌を含むほぼ**全国で40℃超**



熊谷市では最高気温**44.9℃**を観測



熱中症などの熱ストレスによる国内死亡者数が、**年間1万5千人**を超える






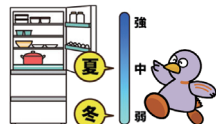

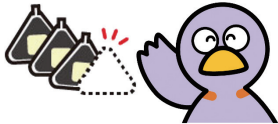


熊谷市の年間猛暑日(35℃以上)日数が**63日**に!

4-1 一人ひとりができること【CO₂を減らす取組】







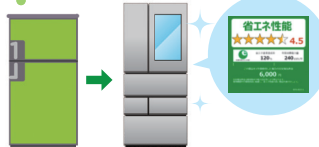

行動しない限り、進行し続ける地球温暖化。私たちにできることを今日から始めましょう。

「エコライフ DAY&WEEK 埼玉【埼玉県】」より

<p>1 テレビなど家電製品を使わないときは、主電源を切ったりコンセントからプラグを抜く</p>  <p>CO₂ 25.6 kg/年の削減 ※2 1,771 円/年の節約 ※2</p>	<p>2 照明は、省エネ型のLED照明を使用する</p>  <p>CO₂ 41.2 kg/年の削減 ※2 2,847 円/年の節約 ※2</p>	<p>3 お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめにとめる</p>  <p>CO₂ 30.7 kg/年の削減 ※1 3,074 円/年の節約 ※1</p>	<p>4 出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用する</p>  <p>CO₂ 34.0 kg/年の削減 ※1 2,389 円/年の節約 ※1</p>
<p>5 お風呂は冷めないうちに、みんなで続けて入る</p>  <p>CO₂ 85.0 kg/年の削減 ※2 6,115 円/年の節約 ※2</p>	<p>6 冷蔵庫の庫内温度設定を、「強」から「中」に変更する</p>  <p>CO₂ 28.1 kg/年の削減 ※2 1,952 円/年の節約 ※2</p>	<p>7 ご飯やおかずを、残さず食べる</p>  <p>CO₂ 6.9 kg/年の削減 ※1</p>	<p>8 お店で手前にある食品を購入する</p>  <p>CO₂ 4.4 kg/年の削減 ※1</p>

※掲載のデータは2023年8月時点のものです。

「ゼロカーボンアクション30【環境省】」より

<p>1 自宅の屋根に太陽光パネルを設置する</p>  <p>CO₂ 1,275 kg/年の削減 ※1</p>	<p>2 窓や壁等の断熱リフォームを行う</p>  <p>CO₂ 189 kg/年の削減 ※2</p>	<p>3 テレワークやオンライン会議を活用し、働き方を工夫する</p>  <p>CO₂ 279 kg/年の削減 ※1</p>	<p>4 クールビズ・ウォームビズを実践する</p>  <p>CO₂ 19 kg/年の削減 ※1</p>
<p>5 長く着られる服をじっくり選ぶ</p>  <p>CO₂ 194 kg/年の削減 ※1</p>	<p>6 自宅で使う電気を再生エネルギーへ切り替える</p>  <p>CO₂ 1,232 kg/年の削減 ※1</p>	<p>7 長く使っている家電を省エネ家電に買い替える</p>  <p>CO₂ 163 kg/年の削減(冷蔵庫) ※2</p>	<p>8 使い捨てプラスチックの使用を減らし、マイバッグ・マイボトルを使う</p>  <p>CO₂ 5 kg/年の削減 ※1</p>

※1 一人当たりの削減量または節約金額 ※2 一世帯当たりの削減量または節約金額 ※掲載のデータは2023年8月時点のものです。

コラム

「エコライフDAY&WEEK埼玉」では、簡単なチェックシートを利用してエコライフを体験し、あなたが削減できたCO₂の量が計算できます。

<https://ecolife-saitama.jp/>



▼他の取組はコチラ



「ゼロカーボンアクション30」では、脱炭素化に取り組むことができる30種類の具体的な行動メニューを示しています。Web上で各アクションをクリックするとCO₂削減量も併せて表示されます。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>

▼他の取組はコチラ



身近な人に伝えよう!

私たち一人ひとりの日々の暮らしを変えていくことが、地球温暖化を止めることにつながります。しかしながら、ごく一部の人が努力するだけでは、この地球規模の問題を解決することはできません。一人ひとりが**声をあげ**、取組を広げていき、**社会システムを変革させる**ことが必要です。まずは、地球温暖化について隣人や同僚、友人、家族と話すことから始めてみましょう。



4-2 一人ひとりができること【気候変動に備える取組】

CO₂を減らす取組(緩和策)の効果が現れるには長い時間がかかるため、ある程度の気温の上昇は避けられません。すでに生じている、または今後生じる可能性のある気候変動に備える取組(適応策)が不可欠です。



今よりも気温が上がっていくんだね...

熱中症対策

エアコンを適切に使って、熱中症を予防する



日差しが強い日は日傘や帽子を活用したり、こまめに水分補給をする



熱中症及び災害対策

天気予報を事前に確認して、暑さや豪雨に備える



「県公式LINE」を活用して、防災情報や熱中症警戒アラート等を確認できるようにする



災害対策

災害時に必要となるものを事前に準備する



ハザードマップを事前に確認し、避難先と避難ルートを家族で共有する



コラム

埼玉県では、気候変動適応に関する情報収集・提供等を行う拠点として2018年12月に「埼玉県気候変動適応センター」を設置しました。県内の気象データや影響情報など、適応策に役立つ情報を収集・整理するとともに、ホームページや講座など様々な手段を通じて情報提供を行っています。



<https://saiplat.pref.saitama.lg.jp/>



埼玉県の温室効果ガス削減目標(2030年度)

46%削減 (2013年度比)

また、埼玉県は2023年3月に

2050年カーボンニュートラル宣言

をしました。

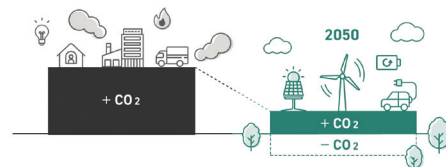
コラム

カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの「排出量」※から、植林、森林管理などによる「吸収量」※を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに森林による吸収作用を保全及び強化する必要があります。

※ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。



出典: 環境省 脱炭素ポータル (https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/)

未来のために『今』できること

～あなたの行動が地球温暖化を止める～

令和6年1月発行

発行/埼玉県環境部 温暖化対策課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-3037 FAX 048-830-4777

E-mail a3030-11@pref.saitama.lg.jp

「埼玉県地球温暖化対策実行計画」について詳しくはこちらから

埼玉県 温暖化対策 実行計画

